イベント情報カレンダー

11月

●11.4（日）
いわぴょんとつくろう！
布絵本であそぼ！

●11.17（土）
ハモルカーナ音楽会

●11.24（土）
由利本荘 木の仕事びと木工ワークショップ Vol.3
fuuukei 佐々木貴充

12月

●12.9（日）
ハンドベルコンサート（午前 2 回公演）
ゆり支援学校作業学習交流・製品販売会

●12.22（土）
由利本荘 木の仕事びと木工ワークショップ Vol.4
鳥海ものつくりの会

●12.29(土)－1.3（木）
年末年始休館日

1月

●1 月上旬予定
もちつき大会

●1.26（土）27（日）
第 6 期おもちゃ学芸員養成講座

※日程・プログラムは変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

TOY MUSEUM GROUP

日本全国各地の豊かな自然とその土地に伝わる文化を「おもちゃ」や「遊び」を通して、受け継ぎ、育む空間である「おもちゃ美術館」が全国に広がっています。
鳥海山 木のおもちゃ美術館は全国で 4 館目としてオープンしました。今後も全国で設立が検討されています。

東京おもちゃ美術館
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内
http://goodtoy.org/ttm/

やんばる森のおもちゃ美術館
〒905-1411 沖縄県国頭村字辺土名 1094-1
http://www.kunigami-forest-park.org/

長門おもちゃ美術館
〒759-4106 山口県長門市仙崎4297-1
https://nagato-toymuseum.com/

「一口館長」募集のご案内

館内にお名前が残ります

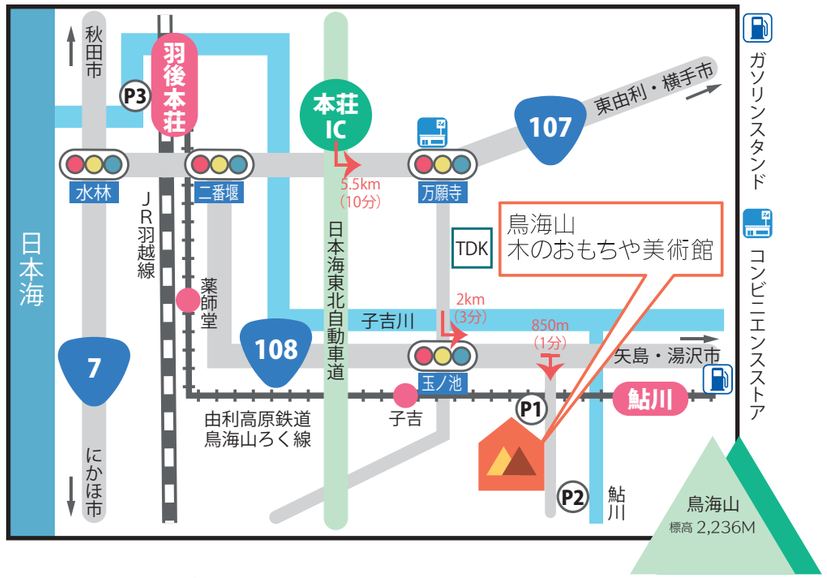
おもちゃと遊びはもちろん、由利本荘市の魅力を伝え、また多世代交流の架け橋となる活動を応援・支援し、「一口館長」となっていただける方を募集いたします。

一口館長のもとには、鳥海山をモチーフにした積み木が届き、館内にはお名前入りのフレームが飾られます。

そのほか金額に応じた返礼品がございます。

由利本荘市産 木のおもちゃのイメージ

詳しくはホームページで！



鳥海山 木のおもちや美術館
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1 旧鮎川小学校
URL http://chokaisan-wtm.jp
鳥海山木のおもちゃ美術館

発 行：特定非営利活動法人 由利本荘木育推進協会
〒015-0363 秋田県由利本荘市町村字鳴瀬台65-1
Tel 0184-74-9070 Fax 0184-74-9079
www.yurihonjo-mokuiku.jp info@yurihonjo-mokuiku.jp
発行日：2018年10月25日

鳥海山
木のおもちや美術館
CHOKAISAN WOODEN TOY MUSEUM

ゆりほんじょう木育通信

2018年 秋号 Vol.05

TOPICS 鳥海山木のおもちゃ美術館

秋の木育おもちゃまつり 開催！

2018 年 10 月 20 日（土）21 日（日）の 二日間、オープン以来はじめての屋外イベント「秋の木育おもちゃまつり」を開催しました。校舎正面には市内外から出店していただいたクラフト販売、ワークショップ、飲食のブースが立ち並びました。グランド上でもチェーンソーアート（大内）、木楽工房（本荘）の家づくり体験、岩城少年自然の家（岩城）の手作り体験など、大人も子どもも一緒に楽しめるブースが盛りだくさん。天候にも恵まれ、多くの親子連れで賑わいました。

また、館内では木工室で本格的なワークショップを開催。国内で活躍するおもちゃ作家「無垢工房 野出正和さん」（埼玉県）と「ナルカリクラフト ナルカリさん」（長野県）を講師としてお招きし、電動糸鋸のワークショップを行いました。工具を使用するため、中学生以上の大人（小学生は保護者同伴）に向けた講座でしたが、こちらも大盛況でした。（中面でも紹介）

その他、おもちゃ学芸員による「てづくりおもちゃづくり」や「わらべうた」、「布絵本」など、木育を中心に据えながら、様々な年代の人が楽しめる企画が盛りだくさんの二日間でした。

今後も地域の方々にも、遠方から訪れる方々にも、気軽に楽しんでいただけるような木育イベントを企画していく予定です。

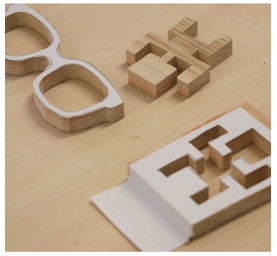
釘を使わない木のおうちづくりを楽しむ子どもたち

おもちゃ学芸員さんと一緒に作った凧をあげる子どもたち

NEWS おもちゃ作家がやって来た！

10 月 20 日（土）21 日（日）の「秋の木育おもちゃまつり」のゲストとしてお招きした、日本を代表するおもちゃ作家「無垢工房 野出正和さん」（埼玉県）と「ナルカリ工房 ナルカリさん」（長野県）にはその技を存分に披露いただき、間近でプロの仕事を見ることができる貴重な機会となりました。スタッフにとっても館内にあるおもちゃを製作した作家さん本人に直接お話を伺う機会となり、刺激を受けた二日間でした。

電動糸鋸は普段なかなか触れることのない工具ですが、館内の木工室には高性能のマシンが 8 台備えられています。ワークショップの参加者は口々に「またやりたい」とおっしゃっており、今後も継続的にスキルアップできる仕組みを作っていきたいと思います。



PickUp!
由利本荘市在住の木工作家によるワークショップも好評です。

9 月から毎月 1 回、おもちゃ美術館整備に関わっていただいた地元由利本荘市の木工作家の皆さんによる木工ワークショップを好評開催中です。

9 月は木楽工房 和田良司さん、10 月は木工舎つきのわ 岡本雄さん、11 月は fuuukei 佐々木貴充さん、12 月は鳥海ものつくりの会が講師です。

大人（中学生以上）に向けた木育の取り組みとして今後も継続の予定です。この機会にプロが教える木工に挑戦してみてください。

COLUMN ウッドスタート宣言と誕生祝い品制度

由利本荘市は 2017 年 2 月に「ウッドスタート宣言」を行いました。ウッドスタートとは、認定 NPO 法人 芸術と遊び創造協会が展開している「木育」の行動プランのことで、「木」を真ん中に置いた子育て・子育ち環境を整備し、子どもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。その取り組みの一つとして、生まれた赤ちゃんに地産地消の木製玩具を誕生祝い品としてプレゼントする事業があります。ウッドスタートでは、第一に、赤ちゃんが初めて出会うおもちゃ「ファーストトイ」は地産地消であることを推奨しています。第二に、若いママ･パパを木のファンにすることに努めています。地産地消のおもちゃで、我が子と遊ぶことによって、木や森林に親しみを感じるようになり、木を暮らしに取り入れようと関心が高まるようです。第三に、地場の木工業の活性化を目指します。木工職人たちが、木のおもちゃを作って生業として成り立つ仕組みを作っていきます。

由利本荘市では誕生祝い品を公募。その結果、市内在住の木工作家 木楽工房 和田良司さんの「おむすびころりん」と木工舎つきのわ 岡本雄さんの「よちよちとりっこ キジ」の 2 作品が選ばれました。子どもたちが触れて遊ぶことをイメージして作られた 2 つの作品。どちらも地域のモチーフを取り入れながら、つくり手の思いが込められた優しい作品です。

ウッドスタート宣言 宣誓書

由利本荘市の誕生祝い品

INTERVIEW 木工作家として伝えていくこと

岡本 雄（木工舎つきのわ 代表）

地元由利本荘市内で木工作家として活躍する木工舎つきのわ代表 岡本雄さんにお話をお伺いします。2015 年、岡本さんは由利本荘市平岫（大内地区）に移住し、木工作家として独立。木工舎つきのわとしての製作活動をはじめました。2016 年 7 月には現在の鳥海山木のおもちゃ美術館（旧鮎川小学校）で結婚式を挙げ、鮎川地域の方々にもお馴染みです。

Q. おもちゃ美術館の館内には岡本さんの作品も多数ありますね。

岡本雄さん（以下、岡本）　もりのあそびばの子どもイス、受付やハイハイひろば、カフェの照明を製作しました。由利本荘市の誕生祝い品に選ばれた「よちよちとりっこ キジ」はおもちゃ列車内やハイハイひろばに置いていただいています。

Q. 由利本荘市で木工作家として活動をはじめて 3 年あまり。おもちゃ美術館が誕生したことでお仕事に影響はありますか？

岡本　同じ由利本荘市の木工に携わる方と合同展示をさせていただいたり、小物作りのワークショップを通して一般の方とふれあう機会ができたりと、新たな人との繋がりが出来たことが何よりうれしいです。県内外から来場いただいている沢山の方に、自分の製作したものに触れてもらえるとても良い機会になったと思います。

Q. 木工作家として、今後の目標を教えて下さい。

岡本　まだまだ駆け出しなので、使ってくれる方の声を聞きながら、自分自身が本当に満足のいくものを作っていく事が目標です。

木の良さと作り手の思いが、じんわりと感じられるような作品を作っていきたいと思います。

岡本 雄
木工舎つきのわ 代表
1984 年生まれ
秋田県 美郷町出身
由利本荘市在住